

【国際経営学会主催 経営学部卒業生による講演会 開催報告】

「ようこそ!!先輩～経営学部の卒業生から仕事の現場を学ぶ・4」を開催

経営学部の卒業生による講演会「ようこそ!!先輩～経営学部の卒業生から仕事の現場を学ぶ」の第4回を、2018年1月15日（月）6号館205講堂で開催しました。今回の講師は、経営学部を2013年度に卒業されて現在は岩手県花巻市地域おこし協力隊で活躍されている鈴木寛太さんでした。



鈴木さんは東日本大震災の直後からスタートした「KU東北ボランティア駅伝」に合計7回参加され、岩手県に熱心に通った経験をきっかけとして、社会人2年目で岩手に移住して花巻市の地域おこしに携わっています。ご講演は「僕が東北と出会ったことの意味」というタイトルで、経営学部での学生生活、ボランティア駅伝で感じたこと、卒業後に就いた仕事と1年後の転職、そして現在の仕事と暮らしの様子などを、たくさんの写真を使って楽しく話してくださいました。

鈴木さんは卒業後にまずITの仕事に就き、当初はやりがいや充実感を感じたけれど次第に迷いが生じたとのこと。ボランティア駅伝で岩手の皆さんに「また来てね、いつでも来てね!」と言ってもらったことが忘れられず、花巻市地域おこし協力隊に応募して転職されました。現在は、花巻市の特産品「エーデルワイン」の拡販やワイン造りボランティアのコーディネーター、ぶどう農家の支援などに駆け回っています。

講演を聞いた学生にとって、安定した職と収入を捨てて遠い岩手に移住し、臨時職員となった鈴木さんの生き方は驚きだったようです。次のようなコメントが寄せ

られました。

- 自分のやりたいことに素直に情熱を注ぐことに、こんなにもよい効果があるのだと驚きました。社会人でありながら学生のようなアグレッシブさがあるからこそ、さまざまな人が寄ってきて、刺激を与えられていると思いました。
- 給料が少なくとも、人の笑顔を見たい、直接かかわりたいと思っているところに共感しました。
- 大学での経験が人を変える力を持っていると考え、大学での経験のひとつひとつを大事にして、いろいろな観点からやっていきたいと思いました。

国際経営学会主催 公開講演会

ようこそ!!先輩

経営学部の卒業生から仕事の現場を学ぶ④



講師紹介：鈴木寛大氏
1991年東京都出身。神奈川県経営学部国際経営学科に在学中の2011年3月に発生した東日本大震災以降、大学のボランティアプログラム「和東北ボランティア隊在」で、繰り返し岩手県を助けるようになる。大学卒業後、一度は神奈川県で就職するも岩手への想いがつづり、2015年8月、地域おこし協力隊として花巻市に移住。大迫（おおはさま）地区で、毎年減少が続くぶどう農家の支援や学生ボランティアなどの企画・調整を行っている。

日 時： 1月15日(月)3 時間(13:30～15:00)

場 所： 湘南ひらつかキャンパス 6 号館 205 講堂

講 師： 鈴木寛大氏(花巻市地域おこし協力隊)

タイトル： 「僕が東北と出会ったことの意味」

【参加自由】
申込不要
理学部学生も
参加できます。

受講した学生は、大学時代の経験が職業選択のきっかけとなる場合もあること、おもしろいと感じることをとことんやると自分自身が見えてくること、たくさんの人との出会いが糧になることなどを感じ取ったことと思います。この講演会が今後も続くことを願っています。

(浅海 典子)